

平成 30 年度

第 2 回 東灘区地域包括支援センター運営協議会議事録

I 日 時 平成 30 年 12 月 11 日（木）午後 1 時 30 分～午後 3 時

II 場 所 東灘区役所 3 階 33 会議室

III 議 題

【審議事項】

- (1) 介護予防ケアマネジメント対象者が要介護状態となった場合の取り扱いについて
 - ・ 指定居宅介護支援事業者所の選定における確認書の受理状況
- (2) 特定事業所へのサービス集中率について

【報告事項】

- (1) 平成 30 年度第 1 回神戸市地域包括支援センター運営協議会の報告
 - ・ あんしんすこやかセンター運営評価について
- (2) 区地域包括支援センター運営協議会の実施回数にかかる見直しについて
- (3) 平成 30 年度（4～9 月）あんしんすこやかセンターの運営状況について
 - ・ あんしんすこやかセンター実績報告
- (4) 地域包括ケア充実のための事業目標について

IV 当日出された主な意見・質問および事務局回答

【あんしんすこやかセンター運営評価】

- (委員) あんしんすこやかセンターの運営評価は誰がするのか。
- (事務局) 介護保険課の職員が評価委員会の方にかけて、第三者に評価してもらっている。
- (委員) 内部だけの評価になっていないか。
- (事務局) 内部だけの評価になってしまい偏りが生じてはいけないので、あんしんすこやかセンターを利用される方にアンケートを実施している。
- (委員) アンケートはどのような人を対象としているか。
- (事務局) あんしんすこやかセンターに来所された方やあんしんすこやかセンターが関わっている方を対象としている。
- (委員) 内々の評価で良好と言っている気がする。民生委員や婦人会からの評価も聞くべき。
- (事務局) 意見として介護保険課の方に伝え、ぜひ検討していきたい。
- (委員) 本山西部あんしんすこやかセンターは圏域内になく場所が悪い。皆、どこにあるのか迷っていると聞いている。市長にも申し入れているが改善しないのか。
- (事務局) 本山西部あんしんすこやかセンターが圏域外にセンターを設置しているということで、市民の皆様にご不便をおかけしているということは課題として認識している。圏域については、次の委託契約の更新の際には見直していかなければならないと認識している。

【運営協議会の実施回数にかかる見直し】

(委員) 運営協議会が年1回になることで、あんしんすこやかセンターの運営の質が低下することはないか。

(事務局) 現在、評価は年1回となっている。また、原則年1回の開催ということになっても、あんしんすこやかセンターの運営上で課題が見受けられた場合には、必要に応じて臨時で開催することもありうると考えている。

(委員) あんしんすこやかセンターの運営上に何か問題があると判断した場合は、どこに言えばいいか。

(事務局) 区保健センターか介護保険課で対応する。

(委員) 本日の東灘区地域包括支援センター運営協議会で出された意見は、神戸市地域包括支援センター運営協議会には報告するか。

(事務局) 本日出された意見はすべて神戸市地域包括支援センター運営協議会に報告し、協議する。

【あんしんすこやかセンター実績報告】

(委員) 高齢者見守りの ICT 受付はもうやらないとのことだが、それに代わる見守りの対策は考えているか。

(事務局) 認知症に関しては、先日、事故救済制度が市議会で可決された。事故救済制度により、徘徊など早期発見のための GPS を利用できるということも考えている。

(委員) それは今後あんしんすこやかセンターの業務になるか。

(事務局) あんしんすこやかセンターの関係業務になると考えている。

(委員) 区社会福祉協議会は、緊急対応も含め地域の高齢者の方のことであんしんすこやかセンターに協力してもらっている。

(事務局) 認知症サポートネットという仕組みで、あんしんすこやかセンター圏域で取り組みを進めている。その中で認知症の方への声かけをする声かけ訓練を行っている。こうした地域の方々のつながりを活かした見守りも有効であると考えている。

(委員) 小地域支えあい連絡会は、民生委員、区社会福祉協議会が集まり、とても良い意見交換があり、内容も充実している。年3回の開催であるが、もっと回数を増やしてもよいと思う。

(事務局) 小地域毎にどのような見守りをしていくかということ地域住民も交えて話している。あんしんすこやかセンターも入り、引き続きサポートをしていこうと考えている。

【災害時の対応】

(委員) 今後も東灘区においても災害が起こることが想定される。一次避難の際に住民同士のつながりがあればスムーズに避難ができる。また、身体の不自由な方が避難所で過ごしやすい環境を作れるような工夫ができればと思う。ベッドや椅子など避難所の備品を充実してもらいたい。

(事務局) 日頃のつながりをしっかりつくるのが災害時にも役立つと考えている。各あんしんすこやかセンターが、未だつながりのない地域に関わることでつながりを作っていくサポートをすすめている。

【地域包括ケア充実のための事業目標の進捗状況報告】

(委員) 各あんしんすこやかセンターが非常に一生懸命取り組んでおり、良い結果が出ている。

(委員) 各あんしんすこやかセンターで、地域ごとに課題としていることがそれぞれ見えており、それに対し取り組んでいることがとても良い。